

017CR

ミニ油圧ショベル

FIGA



機械質量 1,620kg

標準バケット容量 0.04m³

エンジン定格出力 11.8kW (16PS)

国土交通省第3次基準値排出ガス対策型 (申請中)

国土交通省超低騒音型建設機械 (申請中)

キャタピラー・ジャパン株式会社

使いやすさに、 多用途に、 充実装備の コンパクトミニ。

ファイガ
FIGA 017CR



高機能、広く快適なオペレータスペース



足元ゆったり、ワイドな運転席

油圧パイロット方式のリスタイプ操作レバーを採用することにより、広い足元スペースを確保。前かがみにならず、自然でゆったりとした運転姿勢がオペレータの疲労を低減します。

12V電源ソケットを装備

ソケットタイプの12V予備電源を標準装備しています。



操作パターンが変更可能な コントロールパターンチェンジャ

レバーで簡単に2つの操作パターンに切替えられます。また、4つの操作方式に切替えられるコントロールパターンクイックチェンジャ（4way）もオプションで用意しています。



2Way(標準装備)

4Way(オプション)

安全を確保する油圧ロック

油圧ロックレバーをはね上げることで作業機（ブームスイングを除く）、旋回、走行をロック可能。また、油圧ロック時にしかエンジンが始動しないエンジンニュートラルスタート機構も装備しています。



盗難防止装置「SSキー」を標準装備

キーに埋め込まれたICチップのキーナンバーを機体が認識することで、はじめてエンジンが始動する盗難防止システムです。電気、油圧および燃料の3系統をロック。キー形状が同一でも、他のキーでは解除できないため安心です。



万一、個別キーを紛失しても「登録キー（赤キー）」を差し込み、別の「個別キー（黒キー）」を差し込むだけで新しいキー登録が完了。紛失したキーは使用できなくなります。

自己診断機能付液晶モニタ

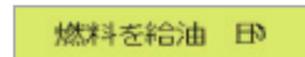
通常作業時表示（燃料レベル、冷却水温、エンジン回転数、アワメータ）からSSキー登録、故障履歴表示まで機械情報を集約。見やすい液晶ディスプレイにわかりやすく表示されます。万一のトラブル時には、内容・処置方法などがきめ細かく表示されます。



通常作業時表示画面



異常警告表示画面



小回り性と高い安定性を両立



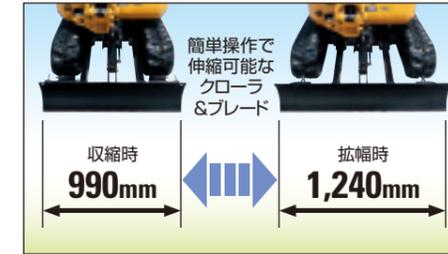
最小車幅
990mm

狭所進入や搬送に適した クローラのスライド式拡幅機構

油圧によりレバー操作で簡単にクローラ幅が変更されます。収縮時には車幅が990mmとなり1m間口の進入が可能。搬送時には2t車も有効に活用できます。

伸縮式ブレード採用

クローラ幅に合わせてブレード幅も伸縮可能。ピンタイプのため伸縮作業も簡単に行えます。



簡単操作で伸縮可能なクローラ & ブレード

収縮時
990mm

拡幅時
1,240mm

狭い現場も安心な後方超小旋回

フロント最小旋回半径
1,210mm
(ブーム左スイング時)



クローラ拡幅時には車体後部がクローラ幅内に収まるため後方を気にせず旋回ができます。また、ブーム左スイング時にはフロント最小旋回半径も1,210mmとコンパクトです。

多用途に使える高い作業性

広い用途をカバーする ワイドな作業範囲

ひとクラス上の広い作業範囲。2tダンブへの積み込みもゆとりで対応します。



最大掘削高さ
3,540mm

最大掘削深さ
2,310mm

バケット掘削力
15.2kN
(1.55tonf)

壁ぎわ作業の効率を高める ワイドオフセット

大きなブームスイング角によりワイドなオフセットが可能。バケット側面が車幅よりも出るため壁ぎわやガードレールぎりぎりの側溝掘りに便利です。



最大オフセット量
510mm

積み込み性を高めた 背面配置のブームシリンダ

ダンブベッセルとブームシリンダとの接触を気にせず積み込み作業ができます。また、岩などのかかえ込みも可能になりました。



アタッチメント用共用配管 (オプション)

ブレーカなどの各種アタッチメントに対応する共用配管をオプションで用意しています。



ハイパワー、 環境対応エンジン

低燃費で低騒音の高出力エンジンを搭載。米国EPAのTier4規制もクリアし、国土交通省第3次基準値排出ガス対策に適合した優れた環境性能も特徴です。

定格出力 **11.8kW(16PS)**



国土交通省
第3次基準値排出ガス対策型
(申請中)



国土交通省
超低騒音型建設機械
(申請中)

容易な日常点検

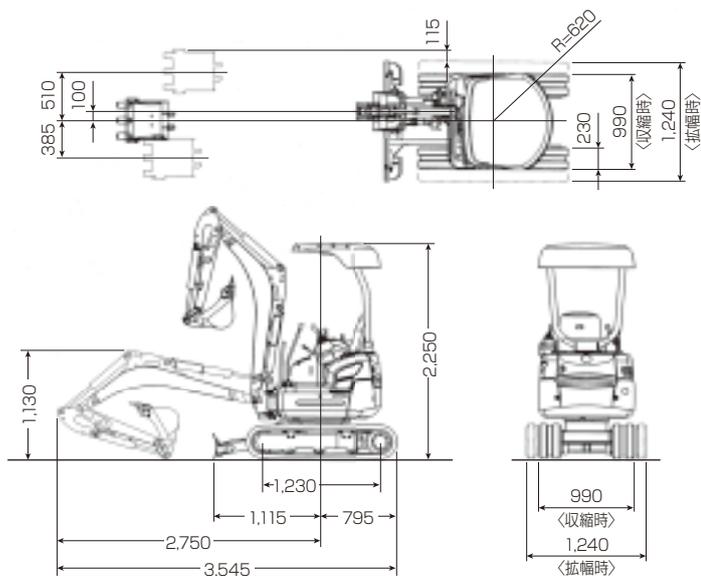


- 後部と左サイドカバーはフルオープンタイプです。
- 点検・整備箇所は地上から安全にアクセスできます。
- スイングシリンダ、旋回部への給脂は一か所にまとめた集中リモート式です。
- 工具などが入る収納ボックスを装備しています。

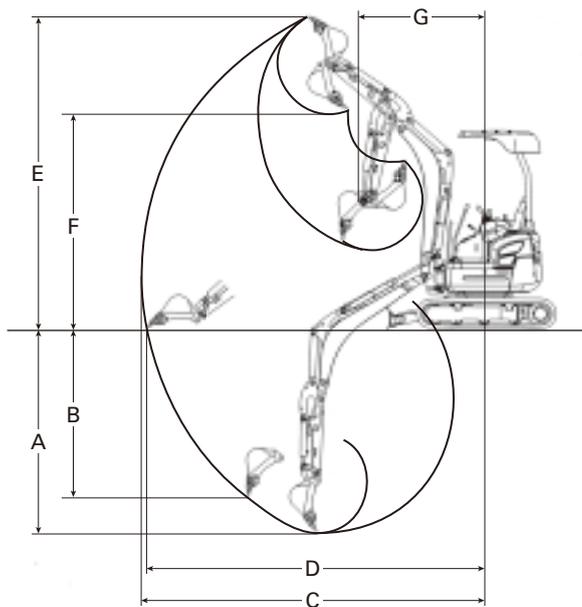


FIGA 017CR ミニ油圧ショベル

外形図 (単位: mm)



作業範囲 (標準バケット装着時)



主要諸元

| 機種 | | 017CR | |
|----------------|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 機械質量 | kg | 1,620 | |
| 機体質量 | kg | 1,360 | |
| 標準バケット容量 | m ³ | 0.04 (新JIS) | |
| 標準バケット幅 | mm | 450 (サイドカッタ無: 400) | |
| 掘削力 | kN(kgf) | 8.8 (863) | |
| バケット | kN(kgf) | 15.2 (1,550) | |
| 寸法 | 全長 | mm | 3,545 |
| | 全幅 | mm | 990 |
| | 全高 | mm | 2,250 |
| | 最低地上高 | mm | 150 |
| | 後端旋回半径 | mm | 620 |
| | クローラ全長 | mm | 1,585 |
| | クローラ全幅 | mm | 990 (収縮時) / 1,240 (拡幅時) |
| 旋回速度 | min ⁻¹ (rpm) | 9.1 | |
| 走行速度 [高速 / 低速] | km/h | 4.1 / 2.1 | |
| 登坂能力 | 度 | 30 | |
| 接地圧 | kPa(kgf/cm ²) | 25 (0.25) | |
| エンジン | 名称 | クボタ D902-k3Aディーゼルエンジン | |
| | 形式 | 4サイクル水冷直列3気筒 | |
| | 総行程容量 | ℓ | 0.898 |
| 油圧機器 | 定格出力 / 回転数 | kW(PS) / min ⁻¹ (rpm) | 11.8 (16) / 2,300 (2,300) |
| | ポンプ形式 | 可変容量ピストン式×2+定容量歯車式×1 | |
| 容量 | リリーフバルブ設定圧 | MPa(kgf/cm ²) | 21.6 (220) |
| | 燃料タンク (軽油) | ℓ | 19 |
| | ハイドロリックオイル | ℓ | 全量21 / タンク13 |
| | エンジンオイルパン | ℓ | 3.5 |
| | 冷却水 | ℓ | 2.6 (リザーバタンク0.6ℓ含む) |

単位は国際単位系によるSI単位です。またバケット容量と掘削力は新JIS表示です。
()内は旧表示を併記したものです。

| | 017CR |
|--------------|-----------------------------|
| A 最大掘削深さ | mm 2,310 |
| B 最大垂直掘削深さ | mm 1,910 |
| C 最大掘削半径 | mm 3,900 |
| D 床面最大掘削半径 | mm 3,840 |
| E 最大掘削高さ | mm 3,540 |
| F 最大ダンプ高さ | mm 2,440 |
| G フロント最小旋回半径 | mm 1,440 (ブーム左スイング時: 1,210) |
| 最大オフセット量 | mm 左: 385 / 右: 510 |
| ブームスイング角度 | 度 左: 65 / 右: 58 |
| 最大トラック外側掘削幅 | mm 左: - / 右: 115 |
| 幅 | mm 990 (収縮時) / 1,240 (拡幅時) |
| ブレード高さ | mm 265 |
| 最大上昇量 | mm 280 |
| 最大下降量 | mm 190 |

バケットバリエーション

| バケット容量 | m ³ | 新JIS表示 | 0.02 | 0.04 | 0.04 |
|--------|----------------|----------|------|------|------|
| バケット幅 | mm | サイドカッタ装着 | 300 | 400 | 500 |
| | | サイドカッタ無 | 250 | 350 | 450 |
| | | | 幅狭 | 幅狭 | 幅広 |

オプション

- ダブルグローサシュー
- 共用配管
- コントロールパターンクイックチェンジャ (4Way)
- ゴムパッドシュー、アタッチメントにつきましては販売店にお問い合わせください。

キャタピラージャパン株式会社

本社 (代表) 東京都世田谷区用賀4丁目10番1号 〒158-8530 TEL.03-5717-1121
(カタログお問い合わせ先) TEL.042-764-8742
(HPアドレス) <http://japan.cat.com/>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

CATERPILLAR (キャタピラー) 及びCatはCaterpillar Inc.の登録商標です。
FIGAはキャタピラージャパン株式会社の登録商標です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させてください。
掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。
仕様は予告なく変更することがあります。

この印刷物には、環境にやさしい植物油インク、FSCミックス認証用紙 (SGS-COC-001429)、水なし印刷を使用しています。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。

4596C1-01(0710)